

# 三島工業団地ニュース

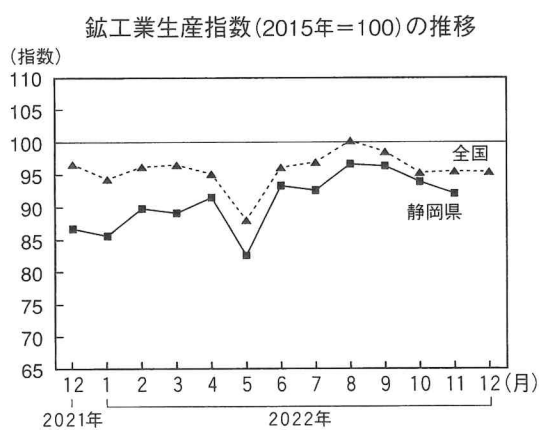
No.21 令和5年3月15日

Vol.44 三島工業団地協同組合

## 「県内の景気概況」

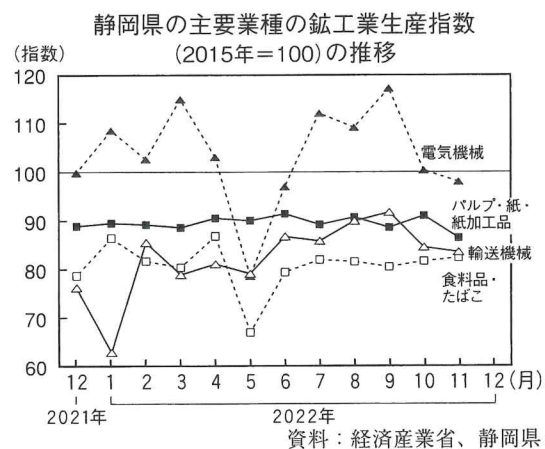
県内の製造業は、半導体などの部材供給は回復傾向にあることから生産活動は底堅く推移している。しかし、原材料やエネルギー価格の高騰による物価上昇は続き今後の懸念材料である。一方で、コロナ感染者の減少やマスク基準の緩和、全国旅行支援の継続、コロナ感染症の5類移行などのコロナ対策の緩和から経済の正常化が期待され、物価高は続く懸念はあるものの全般的な県内景気はアフターコロナと言われる景気回復途上に進むものと思われる。

以下は、静岡経済研究所 景況レポート3月号「静岡県の経済指標の動き」より抜粋です。



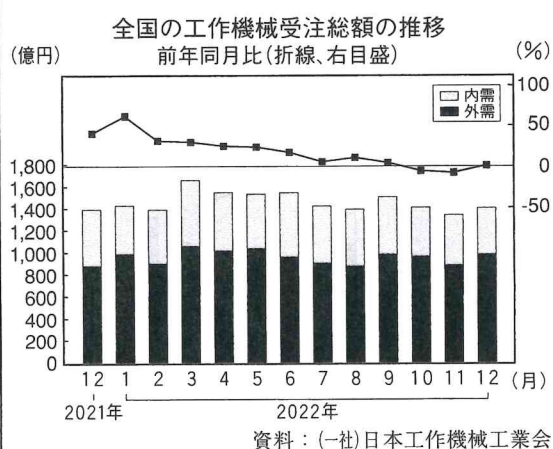
11月の静岡県の鉱工業生産指数は92.1(季節調整済、2015年=100)で前月比△1.9%と、3カ月連続で低下し、19カ月連続して100を下回った。

主要業種(季節調整済)では、食料品・たばこ82.4(前月比+0.9%)が若干ながら上昇が続いた他は、電気機械98.0(同△2.3%)が5カ月ぶりに



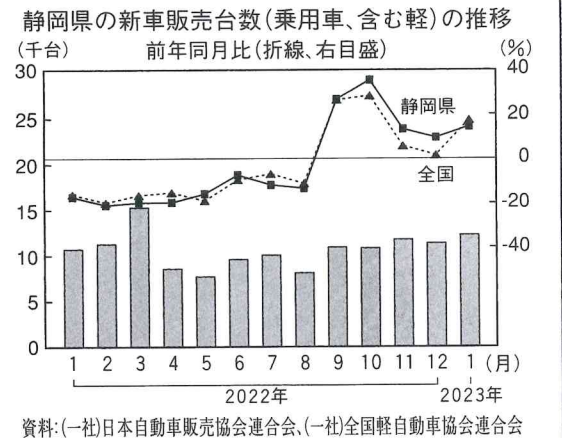
100を割り、輸送機械83.6(同△1.2%)、パルプ・紙・紙加工品86.5(同△4.9%)も低下した。

その他、汎用・生産用・業務用機械125.0(同△2.2%)、化学109.8(同△4.3%)、プラスチック製品96.7(同△2.9%)など、大半の業種において前月を下回った。



12月の工作機械受注総額(全国)は1,405億4,400万円で前年比+0.9%と、3カ月ぶりのプラスになった。

内訳は、内需が422億6,200万円(前年比△17.4%)と4カ月連続で前年比マイナスとなる一方、外需は982億8,200万円(同+11.6%)で3カ月ぶりに前年を上回った。



1月の静岡県内の新車販売台数(乗用車、含む軽自動車)は1万2,256台で前年比+14.4%と、5カ月連続のプラスとなった。

車種別では、普通・小型車が6,346台(前年比+5.8%)、軽自動車は5,910台(同+25.2%)と、いずれも5カ月連続で増加した。